

医と食

Clinical & Functional Nutriology 2010;2(6)

目次	281	
病理最前線「脳腫瘍画像診断」	中井完治、菊地 眞	282
栄養学の礎を築いた人 「Antoine-Laurent de Lavoisier」		284
Editorial 「食養生の伝統と戦後の栄養学」		285
鼎談 「グルコース摂取は必要か ケトン食から糖尿病治療まで」	高田明和、太田成男、渡邊昌	286
特集 人間に必要なエネルギー源についての再考		293
・糖質制限食 (carbohydrate restriction) の効果	江部康二	294
・ケトン・フォーミュラ作成秘話	桑田 有、金子哲夫	298
・果物の糖類と健康との関係	吉田企世子	300
・フルクトースの健康影響	永井義夫, 柏木厚典	303
・人工甘味料の利点とリスク	金沢和樹	307
患者学のすすめ (その4)	加藤眞三	311
第19回腸内フローラシンポジウム報告	野本 康二	314
食の随想 温故知食「食法」	川端晶子	316
在宅医療の現場から その2	英裕雄	318
ヨーロッパの栄養士の活動《5》英国における管理栄養士養成の現状 (Part 2)	福田ふみ	322
管理栄養士のキャリアパス No.9 大草原の小さな町の病院で働く	グラス明美、笠岡(坪山)宜代	324
健康食品・サプリメントの安全性《5》最近の健康食品との因果関係が疑われる健康被害の特徴	中西朋子、佐藤陽子、笠岡(坪山)宜代、西山聡子、梅垣敬三	327
テラーメイド・ヌトリション《10》		
絶食と糖負荷試験後のホルモンの動き	納光弘	331
編集委員と協賛企業		336